

# 子どもの 笑顔を守る ために

## 地域における児童虐待の 防止に向けて

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国保育協議会

監修  
才村 純  
(日本子ども家庭総合研究所  
ソーシャルワーク研究担当部長)

# 地域における 児童虐待の防止に 向けて

全保協 児童虐待防止キャンペーン  
(3回シリーズ No.2)

児童虐待は子どもの成長・発達に悪影響を与えるばかりか、  
時には子どもの命に関わる深刻な問題です。

いち早く発見し、支援の手を差しのべるために、社会全体の協力が  
求められています。

あなたは、親への「育児をいつでもお手伝いします」「あなたの子育  
てを見守っています」というメッセージの送り手なのです。

### ●このような子どもを見かけたら...注意深く見守ってください。

これらは児童虐待を受けている子どもに見られることの多い特徴です。これらの特徴のどれかが  
当てはまるからといって、即、児童虐待を受けているということではありませんが、注意深く見守  
る必要があるといえます。

## 乳児

表情や反応が乏しく笑顔が少ない  
特別の病気がないのに体重の増えが悪い  
いつも不潔な状態にある  
おびえた泣き方をする  
不自然な傷がある  
予防接種や健康診断を受け  
ていない



## 学童

態度がおどおどしている  
うそが多い  
家に帰りたがらない  
性的なことで過剰  
に反応したり不安  
を示す  
傷や家族のことに  
関して不自然な  
答えが多い



## 幼児

不自然な傷や同じような傷が多い  
傷に対する親の説明が不自然である  
身長や体重の増加が悪い  
不自然な時間の徘徊が多い  
衣服や身体がいつも不潔である  
他者とうまく関われない  
他者に対して乱暴である  
基本的な生活習慣が身につけていない  
衣服を脱ぐことに異常な不安をみせる  
他者との身体接触を異常  
に怖がる  
年齢不相応の性的な言葉  
や性的な行為がみられる



### ●このような保護者を見かけたら...注意深く見守ってください。

これらは児童虐待を行っている親に見られることの多い特徴です。これらの特徴のどれかが当てはまるから  
といって、即、児童虐待を行っているということではありませんが、注意深く見守る必要があるといえます。

地域の中で孤立している  
自分や他者に対して否定的な態度をとる  
他者との関係がもてない  
子どもに関する他者の意見に被害的・攻撃的になり  
やすい  
子どもへの態度や言葉が拒否的である  
子どもの扱いが乱暴であったり、冷淡である  
小さな子どもを残してよく外出している  
子どもがなつかない、という



## ！虐待を行う親を理解する ために

### ～なぜ虐待が起きるのか

通常、虐待の要因としては 夫婦の不仲や経済的  
問題や家族の病気、近隣や親類からの孤立、手  
のかかる子、育てにくい子どもであること、何ら  
かの事情で長く親子別々に生活していたりして子  
どもに愛着をもてないこと、等が考えられています。

これらの要因があるからといって必ず虐待が起き  
るわけではありませんが、これらの要因が重なると  
虐待が起こりやすくなります。また、育児のストレ  
スや孤立感から虐待してしまい、親自身が悩んでい  
ることも珍しくありません。

## ！保育所だけで解決しよう としない

### ～まず相談を

無理に親から虐待について問いただすことは禁物  
です。かえって事態を悪化させる恐れがあります。児  
童虐待が疑われる場合は、決して保育所だけで解決  
しようとはせず、必ず専門機関や市区町村の担当課  
に対応を相談してください。

## ！虐待が疑われる親と 接するときの注意

### ～批判的な態度は避ける

虐待が疑われるからといって、親に対して批判的  
な態度を取ることは避けなければなりません。また、  
育児方法について「こうすればいい」と指導的に関  
わると、親は反発し、離れてしまいます。

むしろ親が苦勞や不安を感じているようであれば、  
その気持ちを受けとめることが大切です。受け止め  
てもらえることで孤立感の解消につながることもあ  
ります。そのうえで、親に対して肯定的なメッセー  
ジを伝え、良好な関係をつくるのが大切です。

また、「虐待」という言葉は刺激的ですので、安易  
に使うことは避けるべきです。

